3.5.3. Dynamics NAVからのデータ取得方法

Dynamics NAV web 接続とは違い、この接続はSQL クエリを実行し企業データベースから必要なデータを読み込みます。そのため、この接続はDynamics NAV web 接続より高速に読み込みます。

以下を説明します。:

- 統合の制限
- インポートされるデータ
- データインポートワークフロー
- インポート オプション

統合の制限

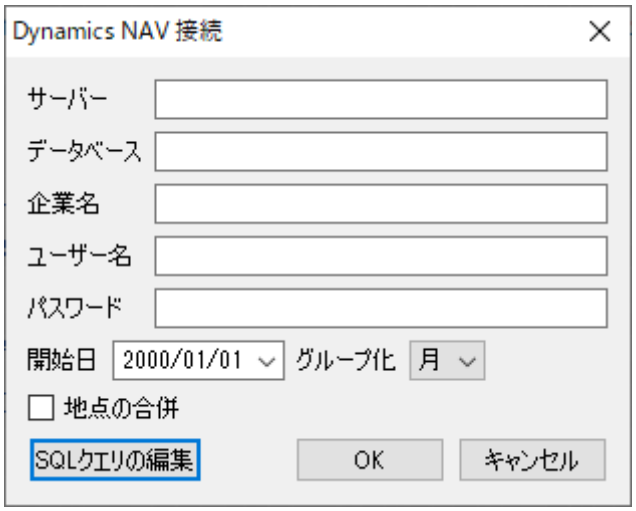
Dynamics NAV web 接続と違い、この接続は単方向の統合です。GMDH Streamlineが企業データベースから一般に必要なデータをすべて読み取りますが、推奨購入オーダーをDynamics NAVに作成することはできません。

インポートされるデータ

このDynamics NAV 接続は、いくつかの事前に定義されたSQL クエリを必要に応じてカスタマイズして利用します。GMDH Streamlineにインポートされるデータについては、在庫管理システムにて記載されています。

データインポートワークフロー

1. メニューのファイル > 新規 > Dynamics NAV 接続を選択します。Dynamics NAV 接続ダイアログが開きます(下記の図を参照)。



2. 稼働中のDynamics NAV サーバーのホスト名またはIPアドレスを、Serverフィールドに入力しま

す。リモート接続する場合は、接続権限が必要です。

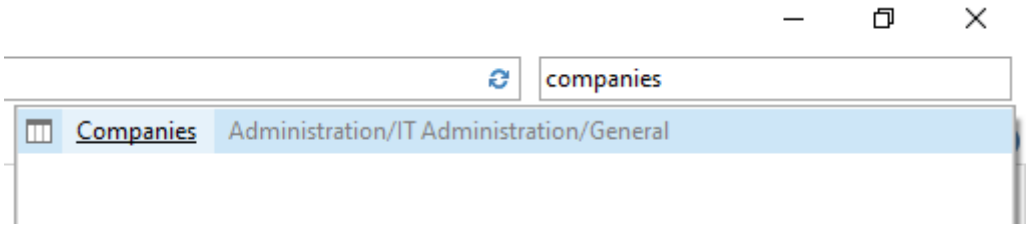
3. ユーザーの企業データベース名を、**データベース**フィールドに入力します。

4. ユーザーの企業データベース名を、**企業名** フィールドに入力します。

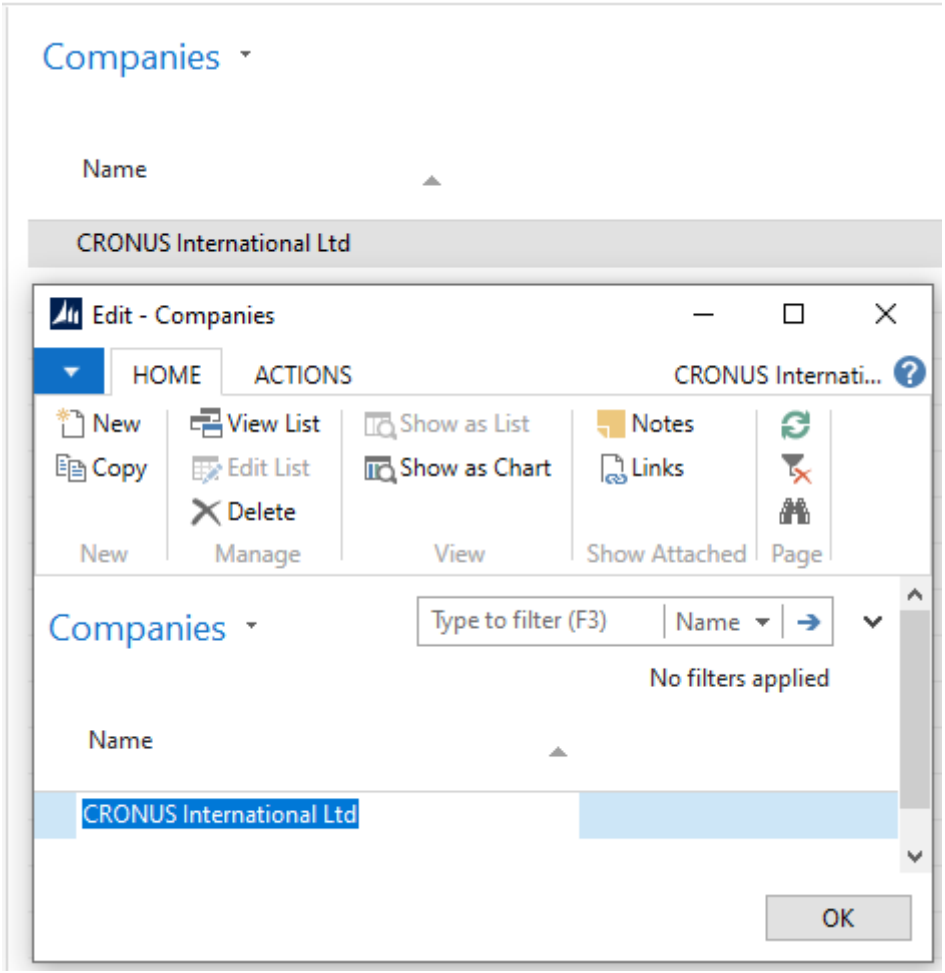
企業データベース名を見つける場合、次の手順に従います。:

4.1 Dynamics NAV クライアントを開きます。

4.2 検索バーに'companies'を入力後、表示されたリンクをクリックします(下記の図を参照)。



4.3 企業一覧から企業名をクリックします。**編集 - 企業** ダイアログが表示されます。



4.4 企業名をコピーし、GMDH Streamlineのダイアログに貼り付けます。

5. アカウントユーザー情報を**ユーザー名** と **パスワード** フィールドに入力します。

6. **開始日** コントロールにある日付フィールドからインポート開始日付の選択または入力をします。



精度の高い予測を作成するにはGMDH Streamlineに少なくとも*24か月*の販売履歴を設定することを強くお勧めします

2020/09/29 06:44

7. **タイムスタンプのグループ化**コントロールにてデータ集計期間を選択します。データを設定された(日、週、月)期間で自動的に集計します。例えば、予測、補充計画や他のレポートを月単位で確認する場合、月単位でデータをグループ化します。

8. **OK**をクリックしてインポートを開始します。

インポート オプション

- **地点の合併**オプションは、すべての地点を1つにまとめることができます。このオプションは、各倉庫が並んでいるために、1つの統合された倉庫として計画をしたい場合に便利な機能です。
- デフォルトのSQL クエリをカスタマイズする必要がある場合、**SQLクエリの編集**からデータベース 接続 ダイアログを開きます。

次へ: Dynamics NAV web

PDFダウンロード

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:nav-connection-guide

Last update: **2020/09/26 13:17**